

望月歴史民俗資料館見学

望月歴史民俗資料館 土屋哲章館長

実施日：令和3年5月18日（火）



第4回目は、前3回の講義を受けて、佐久市立望月歴史民俗資料館を見学させていただきました。館長の土屋哲章先生より、大名や旗本などの宿泊のときに掲げた宿札を紹介していただいたり、望月宿の宿場のつくりを地図で解説していただいたりした。他にも、縄文時代の復元住居や、立科町から出土した土器や石器が展示されていた。また、望月宿の往時の様子を知るための資料として、古文書や絵図も見ることができました。館内には明治時代以降の暮らしぶりを感じさせる展示品も数多くあり、実物を見ることによって、時間の流れや歴史の重みを肌で感じることもできる良い機会になった。

【生徒の授業日誌より】

・昔、望月ではどのようなことがあったのか知ることができた。展示してある土器を見て、様々な形や大きさのものがあって、自分が見たことのない大きさのものまであってびっくりした。旧石器時代から昭和までの歴史を知ることができ、昔のものをたくさん見る貴重な体験ができてよかった。

・昔の人が使っていた道具をあれほど間近に見たことがないので、貴重な体験ができました。昔の人は現代の人と比べて「圧倒的に苦勞していたんだ」と実感しました。今の時代に感謝です。

・明治時代以降の暮らしや仕事、祭り、そして望月で盛んだった養蚕。蚕糸業の様々なことを知ることができておもしろかった。蓼科山麓地域から出土した縄文時代の住居跡や土器、石器なども展示してありすごかった。